

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 父子手帳

団体名 NPO 法人次世代健全育成サポートあひるっこ

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	○	初回でイクメンプロジェクトチームができあがったので、これ以上人員が増えると、意見がまとまっていけないので、チームと協働して行っていったため、後半は広報活動しなかった。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	○	少子化対策として、子育て家族には直接的、それ以外の市民には間接的に利益増進につながると思われる。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	◎	手帳ができあがるまでは、みんな実感は持てなかったと思われるが、アンケートも快くいろいろな世代が協力してくれた。手帳が出来上がってからは、より理解を感じた。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	△	市政10周年の事業が大きくて多かったので、前半がなかなか進まず、後半には着実に追いつけた。思いのほか、自分たちが想像していたものと、お父さんが感じるものが違ったので、意見を集約するのに時間がかかった。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	事業を確実に実施するために、あひるっこ職員をボランティアで体制を整えることができた。イクメンプロジェクトのお父さんたちもすごく協力してくれた。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	父子手帳製作にあたり、イクメンプロジェクトが出来上がったことが、なかなか男性のコミュニティの場が少ない現状でよかったと思う。若いパパからも参加したいという声が上がっている。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	イクメンプロジェクト、おやじの会や、PTA、NPO 法人グリーンパパプロジェクトなどと協働を進めることができた。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	行政が作っているよその自治体のものはどれも情報が膨大でお父さんたちが望むものではなかった。市民の声が反映されるものが出来上がった。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	◎	イクメンプロジェクトとの協働や、あひるっこの事業として新しい企画を行っていく。
	・自己資金の確保に努めていますか	◎	寄付金集めや、なつまつりに出店などして、自己資金を確保していく予定
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	印刷代に費用が掛かるので最低限に抑えていく。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	想像以上に、お父さんの思いが反映できたことが、成果だと思う。もっと先にイクメンプロジェクトを立ち上げるつもりだったので、早く立ち上がったことも成果だと思う。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない